

第132回日本育種学会講演会 ランチョンセミナー

日時：平成29年10月8日（日）12:00-13:00

場所：岩手大学農学部 G22 教室

講演タイトル・演者：

「国際婦人年の採用から-研究機関での35年間-」

勝田真澄氏（農研機構北海道農業研究センター所長）

「支えられて巻き込んで 子連れ単身赴任生活」

宮本尚子氏（森林総研 材木育種センター）

後援：男女共同参画学協会連絡会

セミナー概要：

当日は44名の学会員の出席があり、中でも参加者の半数以上が男性会員ということもあり、育種、研究現場での働き方改革やキャリアパスの多様化等に対する関心の高さを実感するセミナーとなりました。勝田氏からは、イネ生育調節剤研究や資源作物育種研究者のキャリアを経て管理職となり、当初はモチベーションが下がったが、なってみれば別の達成感があったので、女性研究者も機会があれば積極的に責任ある立場を引き受けてみては、といったお話をいただきました。宮本氏からは、お子さんを連れて単身赴任しながらの研究生活をする上でのご苦労や工夫についてお話いただきました。職場の制度や同僚、近隣コミュニティーなど、頼れるものは頼り、一方で仕事の能率をあげて、日々子育てと研究の両立に奮闘しておられる具体的な姿が共感を呼んでいました。出席者の多くからはアンケートを通して貴重な感想・意見が寄せられました。そうした学会員の意見をもとに、男女共同参画推進委員会では育種学会の実現を目指して活動して参ります。ご参加頂いた学会員の皆さまに心から感謝申し上げます。



写真：セミナー会場の様子